「都道府県別の医療費の将来見通しの計算方法ツール」を用いた

操作説明書

平均在院日数の短縮による医療費適正化効果の推計方法

　１．　都道府県を選択します。

　２．　適正化計画内容（「１．2012年度の平均在院日数目標値」、「２．独自施策による医療費削減率」）に1期計画策定時に設定した値を入力、設定登録ボタンを押下します。

結果シートの総医療費（2012年、適正化前・適正化後）を比べ、1期計画策定時に推計した平均在院日の短縮による医療費適正化効果を確認します。

　３．　「１．2012年度の平均在院日数目標値」に2012年度の実績値を入力、再度設定登録ボタンを押下します。

結果シートの総医療費（2012年、適正化前・適正化後）を比べ、平均在院日数2012年度実績による医療費適正化効果を推計します。

※　他県に入院している住民の医療費適正化の効果は、他県の目標に影響を受けることとなりますが、他県の目標が分からなくても推計が行えるように、計算ツールでは、他県の目標値については、長野県との差の3分の１縮小により設定して計算しています。

他県の目標値を独自に入手して推計に反映させる場合には、非表示シート「Ⅸ①平均在院日数短縮の効果」のD列（2012目標値）に当該数値を入力した後に結果シートを確認します。